

3. 年表

～栗林荘時代～

元号	西暦	事項	備考
応永の頃	1400頃	室町期の手法、仏教信仰の庭として小普陀の石組がつけられたと思われる。	
天正15年	1587	生駒親正が讃岐17万3千石を領する。	生駒親正
慶長元和の頃		生駒家に仕えた佐藤道益が隠居して、この地に庭園を営む。	一正・正俊
寛永2年	1625	伊勢国津藩藤堂家家臣、西嶋八兵衛が讃岐国生駒家に派遣される。	生駒高俊
寛永8年	1631	西嶋八兵衛は生駒家の命により、香東川の東の流れを堰き(その地に大禹謨を鎮む) 西の流れに統合した(1637年説あり)。生駒家は佐藤道益の庭をもとに香東川の河床に「栗林荘」を築いたが、八兵衛は土木主任としてこれに関与したとも推測される。	
寛永17年8月	1640	生駒高俊が出羽の矢島荘(秋田県)に転封される。	
寛永19年5月	1642	松平頼重が東讃岐12万石を領する。生駒家が築いた栗林荘を使用、改修に着手する。	松平初代頼重
延宝元年	1673	このころ、観音堂・檜御殿を建立する。	
元禄13年10月	1700	「御林御庭之図」完成。同図によれば、この時すでに掬月亭が描かれている。	松平2代頼常
延享2年4月	1745	栗林荘改修・完成。六十景撰名なる。「栗林荘記」書かれる。	松平5代頼恭
寛延元年	1748	薬草園を営み、平賀源内、池田玄丈、池田文泰などに管理させる。	
文政7年	1824	高松藩家老芦沢元徴「栗林分間図」を作成する。	松平9代頼恕
天保4年	1833	9代藩主頼恕、11代将軍家斉より五葉松の盆栽を拝領する。(後の根上り五葉松)	
弘化元年	1844	本園の精密な絵図が完成する。「栗林古図」	
嘉永3年	1850	鴨猟に支障があるとして北庭の栗の木を伐採。(3本のみとする。)	松平10代頼胤
明治2年	1869	版籍奉還により本園の敷地は官有(明治政府)となる。この頃、檜御殿、観音堂、弁財天祠、日暮亭、星斗館(掬月亭)の一部などを廃す。	

コラム: 日本最大の鴨場

北庭の群鴨池は、歴代藩主が鴨猟をするための鴨場でした。明治から大正にかけての北庭改修工事で当時の鴨場施設はなくなりましたが、1993年遺構をもとに鴨引き堀を復元しました。現代では、鴨引き場が残る鴨場は、全国で5箇所しか残っていませんが、復元された鴨引き堀は、幅、長さとも現存する鴨場の中で最大です。鴨猟は鴨の習性を利用したもので、鷹匠も参加する大掛かりなものだったようです。



鴨引き堀

～栗林公園時代～

元号	西暦	事項
明治8年3月	1875	「公園に関する太政官布告」に基づき栗林公園が県立公園として一般公開される。この頃、有志が「甘棠社(かんとうしゃ)」を組織し、本園の維持に協力する。
明治13年3月	1880	栗林公園碑東門に建立。(明治11年製作着手)
明治30年5月	1897	公園用地として紫雲山の使用が許可される。(農商務省)
明治31年1月	1898	日暮亭が建築される。(石州流)
明治32年2月	1899	香川県博物館(現商工奨励館)が完成、3月開館する(帝室技芸員伊藤平左衛門設計・監理)。明治39年「物産陳列所」、大正10年「商品陳列所」、昭和13年「商工奨励館」に改称し現在に至る。
明治36年10月	1903	皇太子殿下(大正天皇陛下)星斗館にご滞在。松をお手植えされる。(10月10日～14日)
大正2年4月	1913	北庭の改修が完成する。(明治44着手)。(宮内省内苑寮技師市川之雄設計・指導。)
大正3年3月	1914	皇太子殿下(昭和天皇陛下)、淳宮殿下(秩父宮殿下)、光宮殿下(高松宮殿下)が御来園。それぞれ松をお手植えされる。
大正11年3月	1922	「名勝」に指定される。(史蹟名勝天然紀念物保存法)
昭和5年1月	1930	(財)栗林公園動物園が開設される。
昭和20年5月	1945	園外に移築されていた日暮亭を園内にもどして復元し、新日暮亭と称す。
昭和20年7月	1945	空襲により紫明亭、枕流亭、北門詰所などを焼失する。
昭和24年11月	1949	高松市立美術館が開館する。
昭和28年3月	1953	「特別名勝」に指定される。(文化財保護法)
昭和31年8月	1956	公園の整備・保全などを強化するため入園が有料となる。(大人10円、小人5円)
昭和37年4月	1962	根上り檜、ソテツの岡、モガシ(ホルトの木)が県天然記念物に指定される。
昭和37年7月	1962	香川県香川町大野にあった「大禹謨」石碑を商工奨励館中庭に移す。
昭和39年3月	1964	石壁(赤壁)の発掘を完了する。(土砂、灌木などにより埋没していた)
昭和40年3月	1965	掬月亭保存修理工事を完了する。(伊藤要太郎設計・監理、昭和37年9月着手)
昭和40年3月	1965	讃岐民芸館(古民芸館)開館(旧民芸館の土蔵2棟を改造)
昭和41年4月	1966	昭和天皇陛下、皇后両陛下御来園。(四国行幸啓)
昭和42年7月	1967	桶樋滝を復元する。
昭和42年7月	1967	新民芸館開館。(事務所を改造)
昭和45年5月	1970	各池の改修(底打ち、護岸)工事を完了する(昭和38年着手)。群鴨池に花菖蒲園新設。
昭和50年3月	1975	開園100周年記念行事開催。
昭和63年2月	1988	高松市立美術館が園外に移転する。
平成3年8月	1991	皇太子殿下御来園。
平成5年5月	1993	鴨場復元工事を完了する。(昭和63年移転した美術館の跡地整備として)
平成5年7月	1993	掬月亭保存修理工事を完了する。(平成4年8月着手)
平成5年10月	1993	今上天皇陛下御来園。(東四国国体)
平成13年3月	2001	偃月橋改修工事を完了する。(平成12年11月着手)
平成16年3月	2004	栗林公園動物園が閉園する。
平成18年10月	2006	東門周辺整備(栗林公園動物園跡地の整備)が完了し、東門駐車場を供用開始する。
平成23年10月	2011	新日暮亭を旧日暮亭に改名、大茶会で改名式を催す。
平成24年7月	2012	南湖において和船「千秋丸」の運航を開始する。
平成25年3月	2013	栗林庵(かがわ物産館)オープン。
平成25年11月	2013	北庭完成100周年、特別名勝指定60周年記念事業開催。
平成27年8月	2015	商工奨励館リニューアルオープン。(平成26年1月着手)
平成28年4月	2016	G7(情報大臣サミット)開催時の会場の一部として商工奨励館が利用される。
平成28年	2016	瀬戸内国際芸術祭2016の会場として「讃岐の晩餐会」、「東京藝大の作品展示」を行う。